

第84回国民スポーツ大会
第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会

第1回 広報・地域づくり専門委員会



令和5年7月27日（木）

島根県市町村振興センター6階 中会議室



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会 広報・地域づくり専門委員会

(敬称略)

| No. | 分野 | 所属 | 役職 | フガナ氏名 | 備考 |
|-----|------------|-----------------------|----------------------------|--|--------------------------------|
| 1 | 学識 経験者 | 国立大学法人島根大学 | 学術研究院教育学系 教授 (視覚伝達デザイン) | コタニ ミツル 小谷 充 | 委員長 |
| 2 | | 公立大学法人島根県立大学 | 地域政策学部 講師 (ブランディング論) | ヒライ トシアキ 平井 俊旭 | (オンライン出席) |
| 3 | メディア 広告 | 山陰広告協会 | 事務局長 | オカ トシユキ 岡 利行 | |
| 4 | | 日本放送協会松江放送局 | 放送部長 | アカバメ ヒサキ 赤羽目 寿樹 | (オンライン出席) |
| 5 | スポーツ | 公益財団法人 島根県スポーツ協会 | 総務・企画課 課長 | (新) タナベ ノリカズ 田部 仁一 (旧) タカノ シンスケ 高野 伸介 | |
| 6 | 福祉 | 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会 | 総務企画部 部長代理 | タケダ ヒロシ 武田 洋 | |
| 7 | 産業 経済 | 島根県商工会議所連合会 | 観光振興課 課長 | フクムラ ヒトミ 福村 仁美 | (欠席) |
| 8 | | 島根県商工会連合会 | 事務局次長 | カドワキ リエコ 門脇 里依子 | (欠席) |
| 9 | 観光 | 公益社団法人 島根県観光連盟 | 専務理事 | マツモト シュウキチ 松本 修吉 | |
| 10 | 社会団体 | 公益財団法人 島根県老人クラブ連合会 | 副会長・若手委員長 | タケベ マサト 竹邊 正人 | |
| 11 | | 島根県連合婦人会 | 副会長 | (新) トリエ キヨエ 鳥居 清枝 (旧) フクダ イチコ 福田 市子 | |
| 12 | | 公益社団法人 日本青年会議所 | 中国地区島根ブロック協議会 会長 | (新) ヤスジマ アツシ 安島 篤志 (旧) ヤマモト マナブ 山本 学 | |
| 13 | | 島根県公民館連絡協議会 | 会長 | (新) ナガノ マサオ 長野 正夫 | |
| 14 | 市町村 | 島根県市長会 | 事務局次長 | ヨシカワ ユキオ 吉川 幸男 | |
| 15 | | 島根県町村会 | 事務局次長 | シマダ シンジ 嶋田 慎司 | |
| 16 | 島根県 | 環境生活部 | スポーツ振興監 | ナカザワ ノブヨシ 中澤 信善 | 副委員長 |
| 17 | | 政策企画局広聴広報課 | 課長 | (新) ナラ アサコ 奈良 麻子 (旧) ゴトウ ケン 後藤 健 | 代理出席 カドワキ ケンジ 門脇 健二 課長補佐 |
| 18 | | 地域振興部しまね暮らし推進課 | 課長 | (新) エズミ マナブ 江角 学 | 代理出席 カサマツ マミ 笠松 真美 調整監 |
| 19 | | 環境生活部スポーツ振興課 | 課長 | (新) アオキ サトル 青木 悟 (旧) オムラ ジュンジ 小村 淳二 | |
| 20 | | 教育庁保健体育課 | 課長 | トクナガ エミ 徳永 恵美 | 代理出席 ホリオ ヒロタカ 堀尾 弘孝 課長補佐 |

84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会
第1回広報・地域づくり専門委員会 次第

日時：令和5年7月27日(木) 14:00～15:30
場所：島根県市町村振興センター6階 中会議室

1 開 会

2 報告事項

- | | |
|--|------|
| (1) これまでの大会準備経過 | P 3 |
| (2) 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 島根県準備委員会決定事項 | P 5 |
| (3) 第3回広報・機運醸成専門委員会以降の広報の取組み状況 | P 6 |
| (4) しまねWebモニター実施結果について | P 10 |
| (5) 広報・地域づくり専門委員会今後の予定について | P 11 |

3 議 事

- | | |
|---------------------|------|
| (1) 県民運動基本方針(案)について | P 12 |
| (2) 県民運動基本計画(案)について | P 13 |

4 その他

意見交換

- | | |
|----------------------|--|
| (1) 県民運動の今後の進め方等について | |
| (2) イメージソングについて | |

5 閉 会

これまでの大会準備経過

| 年 月 日 | 内 容 |
|----------------|--|
| 平成30年 9月3日 | (公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議 |
| 9月10日 | (公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出 |
| 9月26日 | 県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決 |
| 10月25日 | 知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明 |
| 11月7日 11月8日 | 県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出 |
| 12月13日 | (公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承 |
| 平成31年 1月16日 | (公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定 |
| 令和元年 10月1日 | 島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催 |
| 令和2年 6月3日 | 島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出 |
| 9月25日 | 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定 |
| 10月2日 | 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催 |
| 令和3年 3月22日 | 準備委員会第1回常任委員会を開催 |

| 年 月 日 | 内 容 |
|-------|--|
| 令和3年 | 7月13日 令和3年度国スポ・障スポ県・市町村連絡会議をオンラインで 7月14日 開催 |
| | 7月29日 準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催 |
| | 9月7日 準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催 |
| | 10月7日 準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催 |
| | 10月12日 準備委員会第2回常任委員会を開催 |
| 令和4年 | 2月16日 準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催 |
| | 3月7日 準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催 |
| | 3月11日 準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催 |
| | 3月11日 準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催 |
| | 3月16日 準備委員会第2回総会を開催 |
| | 8月30日 令和4年度国スポ・障スポ県・市町村連絡会議を開催 |
| | 10月20日 準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催 |
| | 12月7日 準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催 |
| | 12月16日 準備委員会第3回総会を開催 |
| 令和5年 | 1月17日 準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催 |
| | 2月17日 準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催） |
| | 2月28日 令和4年度国スポ・全スポ県・市町村連絡会議を開催 |
| | 3月9日 準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催） |
| | 7月11日 準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催 |
| | 7月14日 準備委員会第4回総会を開催（書面開催） |

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会決定事項

○第 3 回総会（令和 4 年 12 月 16 日）

- ・ 令和 3 年度事業報告
- ・ 令和 3 年度収支決算
- ・ 令和 4 年度収支補正予算
- ・ 第 84 回国民スポーツ大会会場地市町村第 4 次選定 別冊 P 1
- ・ 全国障害者スポーツ大会の略称統一に伴う愛称等の一部変更

○第 3 回常任委員会（令和 5 年 3 月 9 日）

- ・ 専門委員会規定の改正 別冊 P 4
- ・ 開催準備総合計画の改正 別冊 P 6
- ・ 大会競技運営基本方針
- ・ 大会実施競技選択基本方針
- ・ 公開競技実施基本方針
- ・ デモンストラーションスポーツ実施基本方針
- ・ 大会審判員・要資格運営員養成計画
- ・ 大会競技用具整備基本方針
- ・ 競技用具整備基本方針

○第 4 回総会（令和 5 年 7 月 14 日）


- ・ 令和 4 年度事業報告
- ・ 令和 4 年度収支補正予算（第 2 号）会長専決処分
- ・ 令和 4 年度収支決算
- ・ 令和 5 年度暫定収支予算会長専決処分
- ・ 令和 5 年度事業計画
- ・ 令和 5 年度収支予算

第3回広報・機運醸成専門委員会以降の広報の取組み状況

| # | 広報物・広報媒体 | 内容等 |
|---|--|---|
| 1 | レクリエーションフェスティバルでの広報ブースの設置 | <p>【実施日・会場】 11月19日（土） 県立体育館</p> <p>【展示・配布内容】 ① 国スポ・障スポ関連ポスター ② くにびき国体・ふれあい大会写真 ③ 国スポ・全スポ紹介用パンフレット</p> |
| 2 | <p>第4回総会でのロゴデザインの報告</p> <p>https://youtu.be/duxNI2tVFFA (Youtube「しまねっこCH」へアップ済)</p>  | <p>【実施日・会場】 12月16日 くにびきメッセ</p> <p>【内容】 ① 動画を用いた発表 ※スサノオマジックホームゲームにおいて、4面ビジョンCM時間に放映 ② 広報グッズの配布 ・エコバッグ ・クリアファイル</p> |
| 3 | <p>山陰中央新聞 新春紙面広告</p>  | <p>【ターゲット】子ども（孫）を持つ親（祖父母）</p> <p>【掲載日】1月1日 ※新聞を読む時間を十分にとることができ、子どもとのコミュニケーションの時間を多くとれることを見込む。</p> <p>【紙面内容】15段（カラー）。半分を家族のコミュニケーションの中で、子供がスポーツを「する」きっかけづくりに。半分を国スポ正式・特別競技の会場地市町村の周知に活用。</p> |

| # | 広報物・広報媒体 | 内容等 |
|---|---|---|
| 4 | <p>県立図書館展示（2F 通路）</p>  | <p>【展示時期】 令和5年2月2日～3月2日</p> <p>【展示内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① “国スポ・全スポ” ロゴデザインポスター ② 国スポ正式・特別競技会場地市町村ポスター ③ 栃木国体 競技写真 ④ トップアスリート支援事業実施写真 ⑤ 前回大会写真 |
| 5 | <p>もっとなるほど！吉田くんのしまねゼミ 「はばたけ！若きアスリート」</p>  | <p>【放送日】 令和5年2月6日</p> <p>【内容】 島根かみあり国スポ・全スポで活躍を目指す若きアスリート達として、2校の部活動の取組を紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 横田高校ホッケー部 ② 松江清心養護学校ボッチャ部 |
| 6 | <p>島根県情報コーナーへの広報物設置</p>  | <p>【時期】 令和5年3月</p> <p>【設置物】 国スポ・全スポ紹介用パンフレット</p> <p>【設置場所】 イオン2店舗 ※親子世代をターゲット</p> |

| # | 広報物・広報媒体 | 内容等 |
|---|---|---|
| 7 | <p>日本スポーツ協会発行 広報誌：ShimaSpo だより第123号</p>  | <p>【配布時期】 令和5年3月</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根かみあり国スポ・全スポロゴデザイン決定報告 ・国スポ開催地市町村決定報告 ・トップアスリート派遣事業 R4 年実施報告 |
| 8 | <p>ファミリーフェスティバル（主催：山陰中央新報社）</p>  | <p>【実施日】 令和5年4月1日、2日</p> <p>【内容】</p> <p>島根県スポーツ協会の出展ブース前に大会広報用バナーの展示、体力測定を実施した子どもたちへ広報グッズの配布、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリアファイル ・国スポ・全スポ紹介用パンフレット |
| 9 | <p>第48回飯南町ぼたんまつり</p>  | <p>【実施日】 令和5年5月14日</p> <p>【内容】</p> <p>ぼたんまつり会場にて大会広報用バナーの展示、広報グッズの配布を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリアファイル ・国スポ・全スポ紹介用パンフレット ・国スポ・全スポ缶バッジ |

| # | 広報物・広報媒体 | 内容等 |
|----|--|--|
| 10 | 国スポ正式競技・特別競技開催地市町村紹介用ポスター  | 【依頼】 令和5年5月以降順次 【内容】 国スポ正式競技・特別競技開催地市町村を紹介するポスターを、市町村、小中学校、大学、公民館、社会福祉協議会等、各種団体宛にポスターを配布・掲示の協力を依頼 |

●ロゴデザイン公共目的利用状況について

令和5年1月末よりロゴデザインの公共目的での利用申請の受付を開始

- 使用許諾件数 : 17件
- 使用申請者 : 市町村、各種競技団体
- 使用内容 : 名刺、大会プログラム、横断幕、ポロシャツ、広報誌等

しまねWEBモニター

1. テーマ 島根かみあり国スポ・全スポについて
2. 期間 令和5年1月16日(月)～1月25日(木)
3. 回答数 517名(女性314名、男性198名、未選択5名)
4. 結果 詳細は別冊資料P7～P26

○認知度項目について

- ・大会開催については、昨年度より3%増
- ・愛称・スローガン、競技開催市町村
認知度は20%前後と認知度は低い状況

開催予定について

| | | |
|--------|-----|---------|
| 知っていた | 247 | (47.8%) |
| 知らなかった | 268 | (51.8%) |
| 未選択 | 2 | (0.4%) |

- ・12月にロゴデザインを発表したため、活用した広報活動を進め認知度の向上を図る。

○大会開催への協力について

- ・60%が協力したいと回答
- ・興味がない・協力が困難40%弱
協力が困難な理由「仕事・子育て」の
声が多い。

大会開催への協力について

| | | |
|-------|-----|---------|
| 協力したい | 310 | (60.0%) |
| 興味がない | 118 | (22.8%) |
| 協力は困難 | 82 | (15.9%) |
| 未選択 | 7 | (1.4%) |

- ・ボランティアのように取組に参画するような関わり方ではない、関わり方があることを周知することが必要。

○今後の広報の取り組みに関することについて

① イメージソングの楽曲作成について

66%強が、地元ゆかりのアーティストによる作成と回答がある一方で、コンパクト、島根を支えていく子どもといったワードも散見される。

② スポーツへの興味を促すコンテンツについて

72%強が県出身で活躍している選手の紹介、54%強が競技のルールや魅力を紹介したものと回答。競技体験会の情報といった内容もあり、「見る」だけでなく「する」側への情報発信も求められている。

広報・地域づくり活動スケジュール

※都度、見直しをかけていく

| 年度 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
|-----------------------------|------------------------|------|-----------------------|---------------------------------|--|--|-----------------|------|-------------|-----------|---------------|
| 年前 | 10年前 | 9年前 | 8年前 | 7年前 | 6年前 | 5年前 | 4年前 | 3年前 | 2年前 | 1年前 | 開催年 |
| 開催状況 | | | | | 中央団体 正視視察 | 内定 | | 正式決定 | | リハーサル大会 | 本大会 |
| 大会機運 | 興味・関心向上 | | | 県民意識の高揚・参加・応援機運向上 | | | 県民の一体感・歓迎ムードの醸成 | | | 郷土愛の定着 | |
| 1 愛称・スローガン等による広報 | 愛称・スローガンの募集・決定 | | ロゴ、デザインガイドマ ニュアル作成 | マスコットキャラクター・イメージソング・ダンス等の検討及び活用 | | | | | | | |
| 2 広告物による情報発信 (印刷物・グッズ等) | ポスター・パンフレット・リーフレット等の作成 | | | | 広報グッズの作成 (クリアファイル、缶バッジ、うちわ、ポケットティッシュ等) | | | | | | |
| | 大会広報誌の発行 | | | | | | | | | ガイドブックの作成 | |
| 3 多様なメディアによる広報 | SNSを活用した情報発信 | | | 県HPの活用 | | | | | | | |
| | 選手・競技紹介用HPの 開設・活用 | | | | 大会専用HP開設・活用 | | | | | | |
| | 新聞・ラジオ・テレビ等による広報 | | | | | | | | | | |
| 4 イベント等による 広報 | 開催内定 イベント | | | | | 開催決定 イベント | | | 1年前イ ベント | | 100日前 イベント |
| | 関係団体等との連携イベント | | | | | | | | | | |
| 5 広告物による情報 発信 (屋外広告物) | 横断幕・懸垂幕 | | | | | | | | | | |
| | 広告塔 | | | | | | | | | 歓迎塔等 | |
| | カウントダウン ボード等 | | | | | | | | | | |
| 6 記録映像等の制作 | 記録映像・記録写真集 | | | | | | | | | | |
| 7 参加章等の作成 | 参加章・記念章の作成 | | | | | | | | | | |
| | 記念グッズ | | | | | | | | | | |
| 8 県民運動 | 県民運動基本方 針・計画の策定 | | | 県民運動アク ションプランの 策定 | | 県民運動の推進 (クリーンアップ運動、あいさつ運動、手作りのぼり旗の作成、 地域のスポーツ活動等への参加・観戦、ボランティア活動への参加、等) | | | | | |

第84回全国スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針（案）

1 目的

第 84 回国民スポーツ大会及び第 29 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の県民運動は、大会開催に向け県民一人一人が様々な形で参加、協力し、各地域においておもてなしの心で来県者を迎えることにより、達成感や感動を分かち合い、生まれる夢や希望が郷土愛の醸成につながる大会の実現を目指して展開していきます。

また、大会開催を契機に、県民誰もがスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とします。

2 目標

(1) スポーツに親しむ環境づくり

大会開催を機に、県民誰もがスポーツを身近に感じ、各地域でスポーツに触れられる環境を整備することにより、生涯にわたりスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域コミュニティの維持や発展、健康増進につながるよう取り組みます。

(2) 県民総参加による大会の盛り上げ

すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。

(3) 県民一人一人によるおもてなし

すべての県民が来場者をおもてなしの心でお迎えし、あたたかい県民性に触れてもらうことにより、大会を通じて島根ファンを増やし、島根県の魅力を高められるよう取り組みます。

(4) 島根県の多彩な魅力の発信

すべての県民が、自然・文化・歴史・食など島根県の魅力を再認識し、大会開催を魅力発信の契機ととらえ、来場者をはじめ多くの方々へ伝えられるよう取り組みます。

3 運動の進め方

県民の方々の理解のもと、県、市町村、競技団体をはじめ、県準備（実行）委員会構成員が互いに連携・協力しながら取り組みます。

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（案）

第 84 回国民スポーツ大会及び第 29 回全国障害者スポーツ大会地域づくり基本方針に基づき、次の取組により、開催に向けた全県的な県民運動を推進する。

1 具体的取組（主な取組例）

- (1) スポーツに親しむ環境づくり
 - ・デモンストレーションスポーツやスポーツイベントへの参加
 - ・地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室への参加
 - ・ライフステージに応じた運動やレクリエーションなど、日常生活へのスポーツの取り入れ

- (2) 県民総参加による大会の盛り上げ
 - ・両大会の関連イベントや行事への参加
 - ・競技会場での観戦や選手の応援
 - ・ボランティア活動への参加
 - ・国体募金や企業協賛による協力

- (3) 県民一人一人によるおもてなし
 - ・明るい笑顔で元気なあいさつと親切で丁寧な対応
 - ・きれいな街づくりにより来県者を歓迎
 - ・のぼりや案内看板などによる選手の歓迎、応援
 - ・文化・芸術、郷土料理や特産品などによるおもてなし

- (4) 島根の多彩な魅力を全国に発信
 - ・自然・文化・歴史などの島根の多彩な魅力の紹介
 - ・郷土料理、ご当地グルメの紹介
 - ・島根の特産品を PR

参考資料

推進スケジュール（案）

| 年 度 | 主 な 事 業 内 容 |
|----------------------------------|---|
| 令和 5 年度 (2023 年度) 【 7 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催基本方針の策定 ・ 開催基本計画の策定 |
| 令和 6 年度 (2026 年度) 【 6 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民運動アクションプログラム（仮）の策定 |
| 令和 7 年度 (2025 年度) 【 5 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> [開催内定] ・ 県民運動の推進開始 |
| 令和 8 年度 (2026 年度) 【 4 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報支援ボランティア募集・登録開始 |
| 令和 9 年度 (2027 年度) 【 3 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> [開催決定] ・ 広報ボランティア募集・活動開始 |
| 令和 10 年度 (2028 年度) 【 2 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会運営ボランティアの募集・養成 |
| 令和 11 年度 (2029 年度) 【 1 年前】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ リハーサル大会 |
| 令和 12 年度 (2030 年度) 【開催年】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本大会 |

| | 滋賀県（2025年） | 青森県（2026年） | 宮崎県（2027年） | 長野県（2028年） | 島根県（2030年） |
|----|--|--|--|--|--|
| 目的 | <p>大会の開催に向けて、県民一人ひとりが身近なことから関わって、「大会を盛り上げよう！」という気持ちが滋賀県内に大きく広がり、滋賀を訪れる方々をあたたかく迎える人と地域の機運を高めるために、みんなで取組を進める。</p> <p>大会の開催を契機に、生涯にわたって気軽に親しめる「マイスポーツ」の発見や、その活動を通じて生まれる様々な人との交流の輪を広げるとともに、滋賀の良いところを発信することで自分が住む地域の魅力を再発見し、滋賀を愛するところを育て、その運動が大会終了後も人や地域に定着することを目的とします。</p> | <p>県民運動は、県民一人ひとりが様々な形で大会へ参加、協力し。理解を深めることにより、スポーツに関わる楽しさと、感動を分かち合うとともに、来県者を熱いおもてなしの心で迎える大会の実現を目指して展開する。</p> <p>大会の開催を契機に、県民が年間を通してスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりの取り組みを県全体に広めるとともに、本県の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とする。</p> | <p>県民運動は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による”おもてなしの心”あふれる大会の実現を目指して、次の方針に基づき展開する。</p> <p>大会の開催を契機に、スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組むとともに、本件の多彩な魅力の発信やスポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進する。</p> | <p>県民運動は、多くの県民が、大会を通して人や地域、スポーツとつながるとともに、来県者を温かいおもてなしの心で迎える大会の実現を目指して展開する。</p> <p>大会の開催を契機に、より多くの県民がスポーツを日常に取り入れること、本件の魅力発信及び活力あふれる地域づくりに寄与するとともに、大会終了後も、その成果が継承されることを目的とする。</p> | <p>県民運動は、大会開催に向け県民一人一人が様々な形で参加、協力し、各地域においておもてなしの心で来県者を迎えることにより、達成感や感動を分かち合い、生まれる夢や希望が郷土愛の醸成につながる大会の実現を目指して展開する。</p> <p>大会開催を契機に、県民誰もがスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とする。</p> |
| 目標 | 1 「滋賀といえばこれ！」と思う”もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをする | 1 すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる | 1 すべての県民が、大会やイベント、ボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる | 1 大会でつながる 世代を超えて大会やボランティア活動に参加し、大会を盛り上げ、地域活性化へつなげる | 1 スポーツに親しむ環境づくり 県民誰もがスポーツを身近に感じ、各地域でスポーツに触れられる環境を整備することにより、生涯にわたりスポーツに取り組む機会を増やし、スポーツを通じた地域コミュニティの維持や発展、健康増進につなげる |
| | 2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「ささえる」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つける。 | 2 すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯に渡りスポーツ活動に親しむ | 2 すべての県民が、来県者等を”おもてなしの心”で温かく迎える | 2 スポーツでつながる 「する」「みる」「ささえる」や「知る」など様々な形でスポーツに関わり、共生社会づくりや健康長寿世界一の信州につなげる。 | 2 県民総参加による大会の盛り上げ すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる |
| | 3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げる | 3 すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える | 3 すべての県民が、スポーツとの関わりを通じ、スポーツの素晴らしさを体感し、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ | 3 おもてなしでつながる 来県者を温かいおもてなしの心で迎え、長野県のファン獲得につなげる | 3 県民一人一人によるおもてなし すべての県民が来場者をおもてなしの心でお迎えし、あたたかい県民性に触れてもらうことにより、大会を通じて島根ファンを増やし、島根県の魅力を高める |
| | | 4 すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する | 4 すべての県民が、来県者等との交流を通じて、宮崎県の多彩な魅力を全国へ向けて発信する | 4 信州でつながる 来県者との交流を通じて、長野の魅力を再発見するとともに県内外へ発信し、元気な長野県の推進につなげる | 4 島根県の多彩な魅力の発信 すべての県民が、自然・文化・歴史・食など島根県の魅力を再発見し、大会開催を魅力発信の契機ととらえ、来場者をはじめ多くの方々へ伝える |

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部スポーツ振興課内)

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6096 FAX:0852-22-6833

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp